



杉谷 洋一 議員

行財政改革の取り組みは？

町長

効果的な取り組みを進める

大山町行財政改革 第3次集中改革プラン

(平成25年度～平成27年度)



大山町

元気な町をめざして

【杉谷】 将来を見据えた財政運営と、活力ある魅力的なまちづくりが求められている。行財政改革にともなう適正な職員数の配置計画はどうなっているか。

【町長】 定員管理適正化計画を策定している。現在は211人で平成30年に197人としている。

【杉谷】 課と課の連携による効率化は。

【町長】 テーマごとに効果的な取り組みや事務を進める。

【杉谷】 フレックススタイルの導入は。

【町長】 県では夜間の会議など、職員の健康面と経費削減との面からフレックス的な勤務時間を採用しているが、本町では、現在導入していない。

【杉谷】 職員給与は、国・県と比較して、処遇・制度・運用・水準の適正化が図られているか。

【町長】 事務職はだいたい適正と理解しているが、技能労務職は、高い水準にあり、本年度中に決着したい。

命を大切に する教育は？

教育委員長

赤ちゃんとのふれあいで

【杉谷】 経済的には豊かな時代となったが、社会生活では人と人とのつながりが希薄となり、心の豊かさを失いつつある。

電子メディアの発達で、子どもたちは有害情報に容易に触れることができ、現実の物事をゲーム感覚で捉え、人を簡単に殺害するなどの事件が起こっている。

本町では命を大切に
する教育にどう取り組
んでいるか。

【教育委員長】 赤ちゃんとの交流学習を中学校で実施している。命の温かさや尊さを感じるとともに、母親との

交流を通して愛情を再認識し、命の大切さを学んでいる。

【杉谷】 道徳教育の取り組みはどうか。

【教育委員長】 人権参

観日や道徳の授業研究会で、思いやりの心や感謝の心、基本的な善悪の判断ができるなど、児童生徒の道徳心を育てている。



赤ちゃんとのふれあい